



いもたきを味わいながら、みどり寮
児童の軽快なダンスに手拍子を送る
来場者

いもたき復活 住民の応援を力に

宇和島の児童養護施設

昨年は豪雨で中止

地域との交流を深めようと、宇和島市住吉町1丁目の児童養護施設「みどり寮」（小規模施設含め44人）は5日、近くの灘公園でいもたき大会を開いた。毎年恒例だったが、西日本豪雨で市内に被害

の出た昨年は開催を見送っていた。住民ら約470人は2年ぶりにいもたきを味わいながら、寮の子どもの成長を喜んだ。

松本清寮長はあいさ

つで「復興途上だが、自治会にやりましょうと言ってもらえた。子どもも楽しみにしていた。ありがとうございました」と感謝。寮の暮らしを紹介し「頑張る子どもたちに寄り添っていく。今後も応援をお願いします」と述べた。

来年、施設を出て就職、進学する高校3年生4人が壇上で自己紹介。三間高校の井上竜聖さん（18）が代表で「テニスを続けてきて小さなことでも努力すれば認めてもらえると思うんだ。会社でも頑張りたい」と語った。

来場者はあつあつのサトイモを頬張りながら、寮の子どもが披露するダンスに手拍子を送った。同市出身の歌手空大樹さんも応援の思いを込めて歌った。

施設を運営する社会福祉法人宇和島厚生協会の曾根貞義理事長は「これだけ多くの人が心を寄せてくれていい。宇和島の上さだと思っ」と目を細めていた。（二宮京太郎）